

令和6年度 山梨県立北杜高等学校評価報告書(自己評価・学校関係者評価)

学校目標・経営方針	自己実現を目指すために、学ぶ意欲、問題解決能力、個性豊かな人間性を養う
-----------	-------------------------------------

山梨県立北杜高等学校校長 山田 芳樹

本年度の重点目標	<p>1 主体的・対話的で深い学びを目指す。</p> <p>2 問題解決能力及び共生・共感を培う人間関係づくりを推進する。</p> <p>3 自主自立の生活の向上を図り、個性豊かな人間性の育成に努める。</p> <p>4 家庭・地域・関係機関への教育活動の周知及び連携の促進を図る。</p> <p>5 「働き方改革」を踏まえて業務の見直しを図る。</p>
----------	---

達成度	A	ほぼ達成できた。(8割以上)
	B	概ね達成できた。(6割以上)
	C	不十分である。(4割以上)
	D	達成できなかった。(4割以下)

評価	4	良くできている。
	3	できている。
	2	あまりできていない。
	1	できていない。

自 己 評 価			
本年度の重点目標		年度末評価(令和7年1月31日現在)	
番号	評価項目	具体的方策	方策の評価指標
1	主体的・対話的で深い学びに向けた指導の充実	<p>①生徒が主体的に学習に取り組むことで、授業で学んだ知識・技能を実生活で活用することができるように、授業づくりの工夫改善に努める。</p> <p>②シラバス、学習の手引き、スタディサブリを活用し、基礎学力及び家庭学習の定着に努める。</p> <p>③ICTを活用し、授業準備の効率化や負担軽減に努める。</p>	<p>生徒・保護者・職員・学校評議員による評価アンケート、生活実態アンケートなど</p>
2	問題解決能力及び共生・共感を培う人間関係づくりの育成	<p>①様々な体験活動や部活動等への積極的な取り組みを通して、コミュニケーション能力を高める。</p> <p>②自己を正しく理解させ、在り方や生き方について考えさせる取り組みを実践し、自己有用感や充実感を育む。</p>	<p>生徒・保護者・職員・学校評議員による評価アンケート、生活実態アンケートなど</p>
3	自主自立の生活の向上を図り、個性豊かな人間性を育成する	<p>①基本的生活習慣の確立及び集団生活のルールやマナーを身につけさせる。</p> <p>②生徒の主体的な活動を推進し、自主自立の精神と道徳性の向上に努める。</p>	<p>生徒・保護者・職員・学校評議員による評価アンケート、生活実態アンケートなど</p>
4	家庭・地域・関係機関への教育活動の周知及び連携の促進	<p>①学校ホームページや便りによる情報発信を工夫し、ホームページ等の充実を図る。</p> <p>②地域の企業や関係機関との交流を深め、地域に開かれた学校づくりに取り組む。</p> <p>③授業等において効果的な外部人材の活用に取り組む、業務の役割分担・適正化に努める。</p>	<p>生徒・保護者・職員・学校評議員による評価アンケート、生活実態アンケートなど</p>
5	「働き方改革」を踏まえて業務の見直しを図る	<p>①条例に定めのある勤務時間を周知し、自主的・自発的な勤務時間管理を徹底し、働きやすい学校を目指す。</p> <p>②ICTを活用した校務効率化の促進</p>	<p>勤退管理システムの集計表、職員評価アンケート</p>

学校関係者評価	
実施日 (令和7年2月28日)	
評価	意見・要望等
3	<p>○主体的・対話的な学びとは具体的にどういったものと学校側は考えているのか、という点を明確にして、生徒や家庭へ提示していく必要性は依然あるものとする。○家庭学習の時間が増えたほうが良いということには同感だが、それ自体は目的ではないので、まずは目的である主体的・対話的な学びを具体的に生徒がイメージできるように示すことが出発点と思う。○教員一人一人が常に自分の指導力を高める努力をしてほしい。改善策にあるような相互授業参観なども、それぞれの教科で年度計画に入れることを考えたり、教員同士が日常的にも話し合い、学び合い、教え合うことが必要である。</p>
4	<p>○本校の生徒については真面目で、地域の特性もあり、共生・共感できる力を持った生徒が多いと考える。○学校生活全体を通して人間性が培われていると感じた。継続しての取り組みに期待したい。</p>
3	<p>○生徒の規範意識は高いが、自主自立、主体的という部分では足りない面がある。授業、その他の場面でも、自分の考えをきちんと発言させる場を用意し、その発言に対して他の生徒たちの考えを言わせるなど、教員の側が意識して指導してほしい。</p>
3	<p>○良く発信されているように思うが、意外と単純に学校の様子をインスタグラム等のSNSで発信することが近道かもしれないと思う。○学校側では家庭、地域への発信はしているようだが、保護者等の事情もあり、確実に伝えるのは難しいと感じる。次年度への改善策にあるように、地域や学校運営協議会と連携しながら具体的な対策を考えていってほしい。</p>
3	<p>○公教育を持続可能なものとするために、今後も重要な価値として取り組んでいただきたいと思う。○「働き方改革」についてはさまざまな問題が関わっているが、一つ一つの問題について話し合い、できるところから改善していくことに期待している。</p>

留意点 (1) 重点目標と評価項目については、各学校の現状と課題に基づき、実情に合わせて重点化し、設定する。

(2) 学校関係者評価については、年度当初に今年度の重点目標の現状と具体的な対策を説明し、評価に必要な情報提供を計画的に行う。学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価委員会等を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。